

The280th Programming Deliberation Committee

第 280 回番組審議会 議事録

開催日 2024年7月23日（火）

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：伊織もえの電腦らじお

放送日時：2024年7月2日（火）22:00-23:00

DJ：伊織もえ

会社からの説明

日本国内外のコスプレイヤーとして活躍する伊織もえがDJの番組。2020年10月に「伊織もえのCHUCHUチューズデイ～夜ふかしラジオ～」として放送を開始し、2023年4月にACG（A=Animationアニメ、C=Comicコミック、G=Gameゲーム）コンテンツの話題や、ACGジャンルのゲストを迎えるトーク番組「伊織もえのACGライブちゅう！」にリニューアル。さらにこの7月からは、ACGも継承しつつ、伊織もえが注目する音楽やアート、海外カルチャーなども幅広く取り上げる「伊織もえの電腦らじお」にリニューアルをした。

※ACG=中国語圏において主に用いられる日本のアニメ（Anime）、漫画（Comic）、コンピューターゲーム（Game）の文化を反映した「2次元」コンテンツの総称。1995年に台湾で呼称として使われ始め、後に香港や中国大陸にも広がった。

委員からの意見・感想

審議委員A

すごく楽しく聞くことができました。他の番組では、ちょっと音楽が足りないと感じることもあったが、1時間の中でのトークと音楽の配分がちょうどよく、個人的に好きな番組である。

このままで良いと思うが、伊織もえさんの拙い喋り方が、ある意味プロフェッショナルになってしまっていて、今のエンターテインメントの流行りにのってしまっている点が気になる。ただ、伊織さんのこの喋り方は、その拙さが良いというところもあると思うので、あえて拙さを残しながらも、DJ っぽいグルーブ感を醸し出すような領域までいけたら、さらにレベルアップができるのではないかと感じた。

審議委員B

伊織もえさんに会いたくなるような番組だった。評論家がカルチャーについて語るよりも、伊織さんに熱量があって、今の本当のネットカルチャーを体験させてもらっているなというのが一番の感想。メールの紹介もとても上手で、何かメッセージを自分に届けられると嬉しくなるし、またメール送ってみようと思わせてくれる人だと感じた。もっと伊織さんからいろんな話を聞き

たいという、最高の雑談を聞くことができ、そこがこの番組の一番面白いところであると思う。

審議委員 C

今、素人っぽさが出ている喋り方が流行っていると思うが、個人的には、プロフェッショナルがプロフェッショナルのエンターテイメントをやるから、エンターテイメントはすごい！と思うところがあり、拙い喋り方でもいいんだという日本の今の流れは、少し残念だと個人的には思っている。伊織もえさんは結構プロフェッショナルだと思うので、もう少し DJ 感を意識した喋り方、プロフェッショナルという目線や感覚を入れたほうが、SNS や YouTube 上の今のネット番組との差別化ができ、やはり、プロフェッショナルな放送局は一味違うよね、という印象を持たせることができるより良い番組になっていくのではないかと思った。

審議委員 D

すごく面白い、いい番組だなと思った。伊織もえさんがすごく人気があることは知っていたが、番組を聞くのは初めてで、すごく可愛らしくて自然体で、でも自分の意見や思いをしっかり持っている、とても素敵なお方だと感じた

選曲もすごく良く、1 時間という放送時間で、今流行りの曲や、最新の東京らしい様々な音楽を選んで、それらをしっかり聞かせる尺を取っていたのがよかった。更に、ACG を含めた最新のカルチャーを届けてくれたり、リスナーからのお便りを読んだり、1 時間の中の内容がまんべんなく、とても良い番組だなと思った。

審議委員 E

いい意味で AM ラジオの感覚があり、久しぶりに新鮮な感情を受けた。曲数もちょうどよい。どうしても言葉が聞き取りにくい部分があったので、アシスタントが付いてもよいかもしれない。良い番組ではあるが、初めて聞いた人にとってのハードルの高さを感じた。聞いている方が整理していかななくてはならない内容があり、何度も聞き直すことができる環境だったらよいが、そうでない場合は、意味が不明瞭なまま次に進んでしまうようなこともあった。ただ、ところどころでうまく曲が入っているので、タイミング的に非常に助かって、いい構成になっていると思う。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上